



なかすじっ子

2019年
6月3日

No.8

文責：陸野

6月の生活目標：えい生に気をつけよう！

四万十市5校連合小学校 修学旅行道中記 その4



最後に、「皆さんにお願いしたいこと」として、長尾さんは次のようにおっしゃった。
「何があっても、自分に負けてはいけません。あきらめてはいけません。」
「長い人生には、我慢しなければならぬことがたくさんあります。そのときは、歯を食いしばっても我慢しなければなりません。私も10年つらかったけれど我慢しました。」
「大きな希望をもってください。必ず叶います。」
「これからの社会は、何でもいい、一つしっかり技術を身につけてください。それが長い人生の支えになっていきます。私はデザイナーになって良かったと思っています。」
「人は一人では生きていけません。支え合わないと。相手の長所も短所も認めて、支え合って生きていってください。」
「絶対戦争だけはしてはいけません。核兵器も使ってはいけません。」

話を聴いて、多くの子どもがナツミさんに感想を伝えようと手を挙げた。その中から3人の子どもが感想をお伝えした。

「ナツミさんは、ケガをしたとしても自分は生きるんだと言い聞かせて、今ここに生きていることが奇跡だと思いました。ぼくもあきらめそうになっても、しっかりと希望を持って頑張りたいです。」
「私がナツミさんの立場に立ったら、きっとあきらめて、もう死んでもいいやと思ってしまうけど、ナツミさんはちゃんと生きるんだという希望を持って頑張って生きていたので、私も嫌なことがあっても、ちゃんと希望を持って生きようと思いました。一回の戦争でもたくさんの方が亡くなってしまうので、もう二度と戦争が起きないようにしたいと思います。」
「私は、ナツミさんの我慢して歯を食いしばって希望を持って一生懸命生きていく姿が心に残りました。二度と戦争を繰り返さないためにも、体験された方のお話を聴けて、絶対してはいけないことが改めてわかったからよかったと思いました。」
長尾さんの話は、子どもたちの心に深く刻まれたに違いない。



この後、新しくなった資料館へ。ガイドさんも紹介してくれた「しんちゃんの三輪車」「階段に残った人影やケガをした被爆者の写真」「さだ子さんの折り鶴」などを実際に見学した。見学を終えた子どもからは、「二度と戦争を起こさないでほしい」「とにかく怖かった」「胸が痛くなった」「小さな原爆一つに、街や人が



焼かれてしまった。こんなことはあってはダメ」などの感想が聞かれた。子どもたちはそれぞれに、原爆の恐ろしさや人々のつらさや悲しみ、平和の尊さなどを感じ取ってくれたと思う。

12時前から広島駅で40分間の買い物タイム。集合時刻を確認すると、子どもたちは蜘蛛の子を散らすようにお土産を求めてフロアへ。多くの子もたちが買い求めた物、それは定番「もみじまんじゅう」。やっぱりこれを買わなきゃ、始まりませんよねえ。

13時頃から昼食。場所は「お好み共和国 ひろしま村」。3階の「ガッツ」「いちなり」という店に分かれて入った。行くと、お好み焼きはすでにできあがっていて、お皿に入られていた。「いただきます〜す」。キャベツの甘さとソースがよくあいますなあ。おいしいですか?と聞くと、左手の親指を立ててGood。食べ終わった子は「おかわりしたい!」「頑張ったらもう一枚食べられます!」「今まで食べたお好み焼きの中で一番おいしかった!」。喜んでいただけて何よりです。

この日最後の見学地、江波山気象館(旧広島地方气象台)へ。爆心地から3.7km離れた位置にあり、建物は爆風の直撃を受け、气象台員の多くも負傷しながら、その後も一日も休むことなく気象観測を続けたという。ここでは、サイエンスショーを見学して、低温体験場で-20℃を体験。自由見学の後、移動。

福山から岡山県へ。バスの中では、例によってガイドさんによるクイズ大会が催された。どのクイズにも食らいつく子どもたち。いつの間にか一体感が生まれ、5校ではなく、一つのクラスのような雰囲気になっていた。18時前に倉敷シーサイドホテル到着。サノヤス造船所に隣接し、瀬戸内海を一望できる場所にある。入館式でのあいさつや返事を聞いた支配人が「元気ですねえ!」。そりゃそうです。明日(レオマ)がありますもの。

夕食は19時30分だったので、子どもたちはそれまで、お風呂に入ったりしてのんびりすごしていた。いよいよ夕食。メニューは、ハンバーグ、すき焼き、刺身、うどん、…。なかなかのボリュームでした。そして、おいしかったなあ。子どもたちは、昼間に使ったエネルギーを補給すべく、友だちと談笑しながら楽しそうに食べていた。

この後、班長と打ち合わせ。確認したことを、班員にしっかりと伝えることができました。

10時消灯。もちろん、子どもたちはぐっすりでした。

~つづく(次回は最終回)~

